

「ひとねるサポート」はじまる

妊娠・出産から子育て期まで 切れ目なく支援

子どもを安心して産み育てられる環境の実現や、子育て世帯の移住・定住を促すために、本年度から「妊娠・出産サポート」や「仕事と子育て両立サポート」など五つの子育てサポートを「ひとねる(※)サポート」としてまとめ、切れ目のない支援を展開します。
ここでは、市公式キャラクター『エーナ』と一緒にサポートメニューを紹介します。
□問い合わせ 子育て支援課 26-2111 (内線268)



親子エアロビで子どもと一緒に体を動かして、楽しくリフレッシュ=子ども元気プラザ

子ども・子育て支援の現状と課題

妊娠から子育て期において私たちがとりまく環境には、次のような現状と課題が挙げられます。
①核家族の増加や地域コミュニティの希薄化により、子育ての孤立化が危惧されています。
②女性の社会進出と共働きが増える中で、延長保育の拡充、市内での病児・病後児保育など多様な保育サービスが求められています。
③子育てや教育に関する経済的な負担の軽減が求められています。
平成25年度に未就学児または小学生を持つ保護者を対象に実施した

包括的な支援体制を構築することとし、そのための施策や事業を進めています。市が特に重点におく政策のテーマである「はたらく」「たべる」「くらす」の視点を持ち、子育てしながら働ける仕組みづくり、安心して暮らせる子育て環境づくりに取り組めます。

「ひとねるサポート」をまよひぬ

本年度において新たに市立恵那病院に産婦人科が開設され、市内で10年ぶりに出産ができる環境が整えられることや、子育て支援の総合窓口と仕組みづくりを担う「えなっ宝ほっとステーション(恵那市子育て世代包括支援センター)」を本格稼働させることを契機に、妊娠から子

一緒に案内するんだナ!



市公式キャラクター『エーナ』

「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」では、日常時、緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に子どもをみてもらえる方の割合は5〜6割でしたが、うち祖父母などの負担への心配や、自分たちの親の立場として心苦しいと感じている方が2〜3割という結果が出ています。必要な子育て支援が受けやすい環境づくりが求められています。

子どもを安心して産み育てられるまちに

現状と課題を踏まえ、第2次恵那市総合計画では「安心して子どもを育てる」を基本施策の一つとし、妊娠、出産、子育てまでの切れ目のな

育て期までの子育て支援に関するメニューについて、本年度から新たに始まる事業やサービスを拡充する事業などを中心に「ひとねるサポート」としてまとめました。子どもと子育てに関わる保健医療・福祉・教育などの各分野から横断的に取り組みをまとめており、人口減少対策につながる移住定住支援事業も含まれていることが特徴です。

妊娠、出産から子育て期まで切れ目のないトータルサポートとして分かりやすくお知らせするとともに、広く市内外へ発信します。

次のページで紹介するんだナ!



「ひとねるサポート」を発信

新たに拡充・充実させた市の子育て施策を広くお知らせするため、リーフレットを発行しました。子ども園や小学校を經由し、園児や児童のいる世帯へお届けすると共に、保健センターや子ども元気プラザ、子育て支援センター、市立恵那病院などで配布します。

子育て世帯の移住希望者に向け、移住定住施策のリーフレットとセットで配布し、市の魅力を高めるPRを行っていきます。

※ひとねる=恵那弁で「育てる」という意味の言葉



困ったときに頼れるところがあるんだナ!

みんなで子育てするんだナ!

親子の成長をサポート

- ①読書に親しむきっかけを応援
ブックスタート(7カ月児教室時に絵本をプレゼント)
- ②こども元気プラザ・子育て支援センター
子育てについて話せる仲間やスタッフがおり、主に未就園児を対象とした親子のふれあい遊び、子育て講座を開催しています。
- ③子ども教室
子どもたちが保護者や地域の方と一緒にさまざまな体験活動を通して交流します。



▼病児保育所内の保育室



●見学会を開催
開所にあたり見学会を開催します。どなたでも見学できます。

□とき ①5月15日(月)午前10時から開所式終了後から午後5時
②5月21日(日)午前10時から午後3時

□ところ 市立恵那病院旧棟
子育て支援課(内線268)

気軽に使えるお助けサポート

- ①エンジェルヘルパー
体調不良などで家事ができないときにヘルパーを派遣し、調理や洗濯などをお手伝いします。
こんなときに使えます!
「手をけがして子どものごはんを作れない」
- ②ファミリー・サポート・センター
「子育てのお手伝いをしてほしい」「子育てのお手伝いをしたい」と思っている方がお互いに会員になり、子どもを一時的に預かったり、送迎をしたりします。
料金は、利用しやすい400円/時間
こんなときに使えます!
「美容院に行きたいけど子どもを連れて行けない……」
「用事でいつもの時間にこども園のお迎えに行けない」

恵那暮らしを応援してくれるんだナ!



子育て世代の恵那暮らしサポート

- ①子育て世代等宅地購入応援
住宅を取得する場合に宅地購入費最大50万円を補助します。
※年齢などの要件があります
- ②同居・近居応援
親と同居・近居するための住宅取得費等に対し、最大50万円を補助します。
※年齢などの要件があります
- ★他にも……
・新婚生活家賃応援



●病児保育所が開所

仕事と子育ての両立を支援する病児保育所が開所します。保護者が家庭の事情や仕事などで「病児」または「病気の回復期」の児童を看ることが困難な場合に、看護師と保育士が児童を預かり保育します。

□開所日 5月16日(火)

□利用できる児童 市に住所を有する生後8カ月から小学6年生までの児童

□利用時間 月曜日～金曜日(土日、祝日・年末年始を除く) 午前8時～午後6時

※予約時間は、利用日前日までの午前8時30分～午後5時

□利用日数 連続して7日まで(休業日を含む)

□利用料金(日額) 4時間未満千円、4時間以上2千円

※利用にあたっては事前の登録と前日までの予約が必要です

5つの あったらえーす!を叶える ひとゆるサポート



産前・産後も助けてもらえて安心だナ!

妊娠・出産サポート

- ①市立恵那病院に産婦人科開設
平成29年秋ごろに分娩スタート
- ②産前・産後ケア
助産師・保健師が家庭を訪問します。産後も市立恵那病院でケアを受けることができます。(宿泊型、デイケア型)
- ★他にも……
・子ども福祉医療費助成
・不妊治療費助成



仕事と子育て両立サポート

- ①認定こども園
こども園は、幼稚園と保育園の機能を合わせ持ち、両方の良さを効果的に取り入れた教育と保育の一体的施設です。
本年度から全ての公立こども園で、早朝保育を午前7時半から、延長保育を午後7時まで実施します。
- ②病児・病後児保育
子どもが病気や病気の回復期で、自宅やこども園などで保育できないとき、市立恵那病院隣接の専用の施設で預かります。
- ③放課後児童クラブ(学童保育)の保育料軽減
保育料を従来料金から月額一律1,000円軽減します。
- ★他にも……
・子育て支援企業PR

子どもが病気の時も預かってもらえるんだナ!



子育て世代包括支援センター

えなっ宝ほっとステーション とは?

～子育ての総合相談窓口～

☎22-9137(直通)

- 妊娠・出産への不安、子育てに悩むお母さんやその家族の総合相談窓口です。
- 保健師、家庭児童相談員など専門職員を配置しています。

～切れ目のない子育てサポート～

- 子育て支援課と保健センターによる一体的な取り組みの下、関係機関と連携して妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を提供します。
- 安心して、妊娠、出産、子育てができるようサポートしますので気軽に相談ください。



西庁舎2階 子育て支援課内